



NEWS, TOPICS, INFORMATION, OPINION & EDITORIAL

組合加入受付期間の変更と大刀剣市出店資格についての新たな取り決めについて

去る三月十七日開催の理事会において、全国刀剣商業協同組合加入申し込み時期の変更、および大刀剣市出店資格についての新たな取り決めがなされたので、報告します。

今まで組合加入希望者は、必要書類を整えば随時申し込みができましたが、平成二十五年度より年二回、四月と十月に申し込みを受け付けることになりました。新規組合員の承認には理事会の決議が必要のため、必ず理事会が開かれるその前月に申し込んでいただくことに決まりました。

「書類も整えて申し込みをしたのに、いつになったら承認の返事がもらえるだろう」との苦情も時々ありましたが、これからは組合としても二回の理事会で集中的に審議できます。なお、加入の際の推薦保証人が亡くなったたり、その方が組合を脱会したときには、新たな保証人を付けていただくことになりました。加入から五年間は、この手続きが必要です。

大刀剣市出店申込迫る

「大刀剣市2013」は10月25日(金)~27日(日)の3日間にわたって開催します。

出店を希望される方は、各組合員宛6月上旬に発送する申込書に必要事項を記入し、6月末必着で組合事務局までお送りください。

なお、ご希望店舗多数の場合は、出店実績に基づいて決定させていただきます。

入基率はそれほど厳格ではありません。店舗がどうかとか、業歴が一定年数を超えているかなどと問われることもありません。極端に言えば、二名

の推薦者(組合員)がいれば入会が可能です。そのような背景もあって、本来なら入会後の営業活動などをじっくり拝見させていただいた後に、信用取引である組合交換会への出席の承認をするべきではないか、また国際的なイベントである大刀剣市への出店の承認条件をもう少し考慮すべきではないか、などの論議が継続してなされてきました。

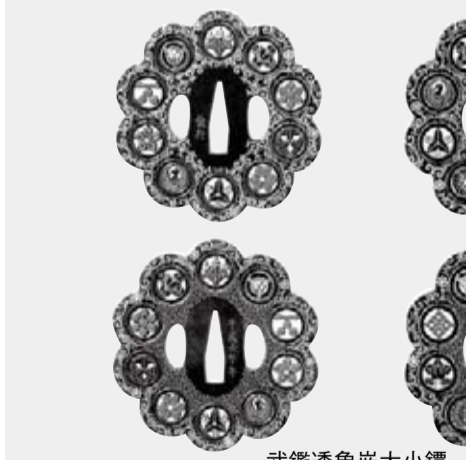
新作鐔が盗難被害

彫金作家で、(公財)日本美術刀剣保存協会・新作名刀展無鑑査の玉岡俊行さんが盗難被害に遭った。盗まれたのは、自身の作品10数点。4月14日、玉岡さんと家族が自宅を留守にした午前9時半から12時ごろまでのわずかな間だった。玉岡さんは故・佐々木恒治さんに師事し、肥後流の精緻な透かしと象嵌の技術を究める第一人者だが、これらの作品は近く個展を開く予定で集めていた。何らかの情報をお持ちの方は、下記まで連絡をお願いします。

玉岡俊行 〒790-0901 愛媛県松山市新石手231

☎089-977-2449

- 〈被害品〉
- ①武鑑透鐔 平成3年新作名刀展出品
- ②桐紋透鐔 平成4年新作名刀展出品
- ③武鑑透象嵌大小鐔 平成10~14年新作名刀展特賞 10点
- ④吉野竜田川透象嵌大小鐔 平成21年新作名刀展出品
- ⑤助真拵写(玉岡俊行作総金具)
- ⑥合口短刀拵(付郷田靖献作欄間透小柄)
- ⑦池田孝寿作縁頭 ほか



武鑑透象嵌大小鐔

美術刀剣・刀装小道具商

やしま
齋藤雅稔・隆久・隆洋

刀装小道具通信販売目録「やしま」
年間10回発行予定
購読料10回 2,000円(郵便切手可)

〒202-0022 西東京市柳沢6-8-10
TEL 042-463-5310
FAX 042-463-7955

金工・刀身彫刻・修理・諸工作式

柳匠堂
柳村宗寿

岡山市北区平和町二一八
TEL 〇八六一二二二二二
TEL 〇八六一二二二二二
TEL 〇八六一二二二二二
TEL 〇八六一二二二二二
FAX 〇八六一二二二二二
FAX 〇八六一二二二二二

代表

網取譲一

〒104-0061
東京都中央区銀座二一四
TEL 〇三三五四一八二〇九
FAX 〇三三五四一八二〇九

甲冑 刀剣 刀装具 古美術一般

福隆美術工芸

〒104-0061
東京都中央区銀座二一四
TEL 〇三三五四一八二〇九
FAX 〇三三五四一八二〇九

刀剣古美術

三峯美術店

〒104-0061
東京都中央区銀座二一四
TEL 〇三三五四一八二〇九
FAX 〇三三五四一八二〇九

美術刀剣、小道具、武具類の
売買、加工及び御相談承ります

大阪刀剣会
吉井唯夫

大阪市中央区日本橋二一七
TEL 〇六一六六三一三二二〇
TEL 〇六一六六三一三二二〇
FAX 〇六一六六四四一五四六四
FAX 〇六一六六四四一五四六四

刀剣類を輸出された方 登録証の返却はお済みですか

平成二十四年四月一日から古美術品輸出鑑査証明手続きが変更になり、一年が過ぎました。

主な変更点は四つですが、特に重要な二点を紹介します。

①輸出鑑査証明の有効期間は一年(ただし、従来通り一回の輸出に限り有効)。登録銃砲刀剣類を含めたすべての古美術品の鑑査証明が一年になりました。

②証明申請に際して提出する銃砲刀剣類登録証は表面の写しです。登録証の原本は、刀剣類の輸出後速やかに、登録事務を行った都道府県教育委員会に直接返却します。

輸出は完了しているのに登録証をそのままにしている方は、至急返却してください。

輸出鑑査証明の有効期間は従来三十日、発行日から三十日以内に輸出しなければなりません。その猶予期間が一年間に延長されたのですが、登録証は輸出後速やかに、発行元の都道府県教育委員会に直接返却する必要があります。

また、従来は申請時に登録証を返納していたため、既に返却済みと勘違いしている例もあるかもしれません。いずれにしても、登録証の未返却があるとのことなので、注意しましょう。

なお登録証を返却する際は、書留またはレターパックプラスなど、後日確認できる送付方法をお勧めします。教育委員会によっては受理の連絡がないところもありますので、念のため。

(服部暁治)

(眞賀吉也)

2013.5.15 VOL.11

発行人 深海 信彦
発行所 全国刀剣商業協同組合
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-18-10
新宿スカイプラザ1302
TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089
http://www.zentosho.com

編集委員	赤荻 稔	朝倉 忠史	飯田 慶雄
飯田 慶久	伊波 賢一	大平 将広	川島 貴敏
齋藤 恒	嶋田 伸夫	清水 儀孝	生野 正
新堀 賀将	高橋 正法	土子 民夫	網取 譲一
服部 暁治	深海 信彦	藤岡 弘之	松本 義行
宮澤 琢	冥賀 吉也	藤岡 持田	

「学校図書館げんきプロジェクト」に寄付



公益社団法人全国学校図書館協議会では東日本大震災被災地支援活動「学校図書館げんきプロジェクト」を推進しているが、当組合ではこれに賛同し、昨年九月十四日、深海理事長・清水専務理事・島田理事・高橋

正法氏が同事務局を訪問し、寄付金百五十万円を託しました。震災から二年が経過しましたが、被災地の学校図書館はまだ復興の道半ばです。津波や地震による流失・損傷で図書が使えなくなってしまう学校はもろ

ろん、学校移転により元の蔵書が使えない、被災地からの転入などにより児童生徒数が増えて図書が足りない、学校の図書予算が減って必要な図書が購入できない……など、さまざま要因で図書を必要とする学校はまだまだたくさんあります。学校図書館げんきプロジェクトが始まって以来、図書寄贈希望の申し込みがあった学校は、岩手・宮城・福島三県合わせて五百八十校に及びます。一方、

本プロジェクトに寄せられた昨年未までの寄付金は一億七千万円を超えたので、地域や学校の被災状況に合わせて一校当たり五〜十万円の寄贈が実現してきました。子供たちや関係者からは感謝の言葉がたくさん届いているそうです。同プロジェクトでは引き続き被災地の学校図書館の復興・再生をお手伝いしていくので、皆さまのご支援をよろしくお願ひしますとのこと。

■全刀商の活動紹介 『刀剣界』編集委員会 業界全体の情報を集め発信

『刀剣界』編集委員会は組合事務局より連絡を受けて開催されます。毎月の組合交換会終了後に開く編集会議のほか、校正作業の際に招集がかかります。どの編集委員も各々の仕事をやり繰りしながら時間をつくっていますので、私も外せない用事が無い限り参加に努めています。時折、会議半ばに汗を拭きながら駆けつけるメンバーもいます。多忙であるのに欠席せず、遅れてもやってくる使命感

には頭が下がります。会議は、編集長が準備したレジュメをベースに進行します。進行役は理事長。組合員にとって有益な記事をタイムリーにわかりやすく伝えること、組合だけでなく刀剣業界全体に目配りすること、本紙の購読者が興味を持って読む記事は何かなどをテーマや取り上げる内容を決める話し合いはいつも真剣です。毎号二名の担当委員がいますが、どの原稿を受け持つかは基本的に全委員の自己申請に委ねられています。

それでも、重要な問題提起などシリアスなテーマの担当決めではみな目を伏せてしまします。そんなとき、理事長は各々の知見や役割を斟酌して執筆を要請します。要請を受けるに誰も否とは言いません。各編集委員の心構えが表れるときです。いつも感心しますが、会議は要領よく進みます。ともすれば

脱線したり、議論百出したりして意見がまとまらなくなりそうなものですが、予定した時間内にきっちり決めて終わります。原稿は、締め切り日までに各執筆から編集長に送られ、紙面が構成されます。それから、校正と読み合わせの会議が再度開かれ、全員で内容をチェックします。最後は発行者である理事長の了解を経て完成。これが発行までのプロセスです。

編集委員は皆この『刀剣界』を充実させるべく、また発行部数を伸ばすべく頑張っています。「組合の情報集積と発信」「刀剣商の地位向上」など頑張る理由は多々ありますが、出来上がった『刀剣界』を購読者の皆さまに読んでもらえる喜びと、編集会議後の懇親会が楽しみて、苦勞を忘れて続けています。そのメンバーは一面題字下に載っています。(松本義行)



『刀剣界』編集委員会は組合事務局より連絡を受けて開催されます。毎月の組合交換会終了後に開く編集会議のほか、校正作業の際に招集がかかります。どの編集委員も各々の仕事をやり繰りしながら時間をつくっていますので、私も外せない用事が無い限り参加に努めています。時折、会議半ばに汗を拭きながら駆けつけるメンバーもいます。多忙であるのに欠席せず、遅れてもやってくる使命感

組合こよみ (平成25年3月~4月)

- 3月1日 銀座刀剣倶楽部会場で『刀剣界』第10号編集委員会を開催(校正)。出席者、深海理事長・清水専務理事・伊波常務理事・嶋田理事・綱取理事・服部理事・眞賀理事・赤荻監事・持田監事・飯田慶雄氏・大平将広氏・生野正氏・新堀賀将氏・藤岡弘之氏・松本義行氏・宮澤琢氏・土子民夫氏
- 17日 東京美術倶楽部にて組合交換会を開催。参加60名、出来高12,472,650円
- 17日 東京美術倶楽部にて理事会を開催。出席者、深海理事長・猿田副理事長・土肥副理事長・清水専務理事・伊波常務理事・飯田理事・嶋田理事・新堀理事・高橋理事・綱取理事・服部理事・眞賀理事
- 17日 東京美術倶楽部にて『刀剣界』第11号・『全刀商』第22号編集委員会を開催。出席者、深海理事長・清水専務理事・嶋田理事・綱取理事・服部理事・赤荻監事・持田監事・大平氏・生野氏・松本氏・宮澤氏・土子氏
- 19日 町村信孝衆議院議員の研究会に深海理事長が出席
- 4月7日 全国美術商連合会理事会に伊波常務理事が代理出席
- 17日 東京美術倶楽部にて組合交換会を開催。参加60名、出来高13,180,000円
- 17日 東京美術倶楽部にて理事会を開催。出席者、深海理事長・猿田副理事長・土肥副理事長・清水専務理事・飯田理事・嶋田理事・新堀理事・高橋理事・綱取理事・服部理事
- 19日 佐野美術館リニューアルオープンに綱取理事・大平氏が出席

●賛助会員紹介●

本欄は広告ではありません。当組合の趣旨に賛同し、賛助会員になってくださっている方々を、本人の申し出に従ってご紹介するものです。(順不同)

他の鞘師のできない
拵合わせに力を入れています

日本刀鞘師
水野 美行

〒160-0002
東京都新宿区坂町18
☎03-3353-8810



研師
吉田 秀雄

〒202-0005
東京都西東京市住吉町3-5-1
☎042-421-5735



曇った刀じゃ
匂がわからぬ……!!
刀剣研師[尾崎刀剣研磨處]
尾崎 明幸

〒574-0014
大阪府大東市寺川2-1-31
☎072-871-7147
oakiyuki@yahoo.co.jp
http://1st.geocities.jp/oakiyuki/



家紋彫り鍔、小道具修復、色上げ時代付け、刀装具製作

白銀師
中田 育男

〒673-1304
兵庫県加東市長貞459
☎0795-47-2740
090-2355-6484
cl72-cbx@ezweb.ne.jp



刀の道、武士道、古い時代、楽しめます

刀剣研師
日本美術刀剣墨工房
墨賢蔵 墨誠一

〒177-0051
東京都練馬区関町北2-7-15
☎03-3928-0062



御刀の研磨を致します

刀剣研磨
平井 隆守

〒501-3977
岐阜県関市清水町43
☎0575-25-0928
onkatana@d6.dion.ne.jp
http://www.h4.dion.ne.jp/~katana



越前松平家所蔵の外装(越前拵)・白鞘・鍔(越前鍔)を目指して精進しております

白鞘師・鍔師
勝山 捷容

〒910-0158
福井市八重巻中町22-26
☎0776-56-3803



刀が好きで50年、永く愛でられる刀・拵と共に

柄巻師
渡邊 俊夫

〒950-0137
新潟市江南区城山2-2-36
☎090-7845-5533



宜しくお願ひ申し上げます

白銀師
三島 幹則

〒799-0413
愛媛県四国中央市中曾根町1615-2
☎0896-23-6760



若い愛刀家が増えることを期待しています

刀装具金工
川島 義之

〒424-0841
静岡市清水区追分3-5-41
☎054-363-0255



刀装具具ご相談承ります

白銀師
宮本 恒之

〒270-0141
千葉県流山市松ヶ丘2-330-133
☎04-7143-4399
myoju@i.softbank.jp



刀身彫刻師・白銀師
橋本 瑠巴

〒350-1304
埼玉県狭山市狭山台4-21-10
☎04-2956-2591



美術刀剣研師
佐々木 卓史

〒341-0003
埼玉県三郷市彦成2-198-8
☎048-957-0320
takushisasaki@hotmail.com



なるべく刀を減らさないように、悪い部分を伏せ、良いところを出し、刀の持ち味を探ち、時代に合わせた研ぎを行いたい

刀剣研師
黒田 守寿

〒812-0871
福岡市博多区東雲町1-4-15
☎092-581-1728



『略奪された国宝と「昭和の刀狩り」』執筆中。情報提供を請う

刀剣ジャーナリスト・酒アナリスト
土子 民夫

〒135-0043
東京都江東区塩浜1-5-5-901
☎03-3649-6523
tsuchiko@knh.biglobe.ne.jp





風向計

其之七 深海 信彦

安倍政権の経済政策が功を奏し、日本経済にも明るい展望が開けていることが肌で感じられる昨今である。わが国だけでなく、アメリカにおいても雇用統計の改善を受けダウ平均株価は大幅に上昇し、一万五千ドルを突破する勢いを見せている。

動向よりも、われわれが一番気になるのは、刀剣業界の景気の先行き見通しである。われわれの相場は、大きな経済情勢の動きに遅れて悪くなり、そして遅れて良くなるのが常であるかのようによ理解していたが、どうやら今回は過去のデータは既に役に立たず、ここ近年の景気変動については、経験則通りにはいかないという言えるのではないか。

さて、日本経済や世界経済の

思ひ出されるのは、何と云っても平成三年のバブル崩壊である。そのときは、その後三年以上も大きな取引相場の下落は見られず、徐々に相場が下向いていったことを実感したが、実はその後景気は上向きと下向きを繰り返してあり、従ってバブル崩壊とともに刀剣相場も壊滅的

な下落の一端をたどるようになったのである。それ故に、現在の経済状況はすくさまわが業界に実感として及んでおり、決して遅れてはいない。

Y-S-11という飛行機をご存知だろうか？ 言わずと知れた戦後唯一の国産旅客機である。零戦の悪夢にうなされたGHQは、日本にあるすべての飛行機を破壊し、航空機メーカーを解体した。戦後、日本における飛行機の製造が許可されると、かつての零戦の設計者たちが国の威信を懸けて開発したが、名機と呼ばれるY-S-11である。

それは他の追随を許さない。そのデザイン担当で副社長であるジョナサンが、日本刀の鍛錬工程を見るだけのために日本を訪れ、刀匠が夜通し行う作業を懸命に見つめていたという。彼が日本刀からインスパイアされてデザインの方向性を決めたとことは、想像に難くない。

この手のエピソードはいくらでもあるが、一貫して共通するのが、日本刀が世界で最先端のクリエーターたちによって、その芸術性が高く認められていることである。

日本刀とデザイン
イメージが採用されているらしい。研ぎ澄まされた緊張感と日本の美意識表現に、日本刀はきわめてイメージが良いのだろう。海外ブランドで言えば、アッパルのノートブック。アルミ削り出しのボディを奢る、他に類を見ない洗練されたノート型パソコンルコンピュータである。美しいエッジの効いたデザインは他の追随を許さない。

徳川家甲冑修理に挑む

2年後公開

板橋区の無形文化財職人

徳川家康まつりや久能山東照宮(静岡市駿河区)が所蔵する「徳川家康」の甲冑修理に挑む職人の一つが修理されることになった。手掛けるのは、東京都板橋区の無形文化財保持者で甲冑師の三浦公法さん(以下、修理後、二〇一五年に迎える家康の没後四百年祭で一般公開される)。



【東京新聞】平成25年4月2日



「徳川家康まつり」の甲冑修復に挑む。三浦公法さんは、江戸時代、徳川家康の甲冑を修理する職人として、三浦家六代に受け継がれてきた。徳川家康の甲冑は、戦国時代から徳川時代まで、さまざまな職人が手付かす。徳川家康の甲冑は、戦国時代から徳川時代まで、さまざまな職人が手付かす。



日本刀が採用されているらしい。研ぎ澄まされた緊張感と日本の美意識表現に、日本刀はきわめてイメージが良いのだろう。海外ブランドで言えば、アッパルのノートブック。アルミ削り出しのボディを奢る、他に類を見ない洗練されたノート型パソコンルコンピュータである。

今更昔稿してくださった大西芳生さんは昭和四十四年生まれの四十四歳。長野県上田市のご出身。スポーツメーカーのデザイナーを十年、その後教師としてマーケティングとデザイン論を担当し、ビジネス学部の主任を四年務めた。刀剣商としては異色の経歴の持ち主である。

飯田高遠堂
代表取締役 飯田慶久
TEL 03-3951-3312

松本富義行
TEL 04-7122-1122

美術日本刀・鐔・小道具・甲冑
日本の伝統文化を彩る
JAPAN SWORD CO., LTD.
(株) 日本刀剣
伊波賢一 Ken-ichi Inami

銀座 泰文堂
TEL 03-3563-2551

刀剣 高吉
連絡先 090-8845-2222

【日本経済新聞】平成24年11月30日

コレクター紹介

マーク・タナバリスさん

二躍有名になった明珍甲冑の愛好家



マーク・タナバリスさん(四十四歳)は、フランスはカ...

彼の出会いは大刀剣市会場...

両親に(！)申し込んだ借金で...

私生活では商社勤めで日仏の...

その二年後には明珍宗周作、...

文 化

徳川の甲冑追っ手は仏人

○オランダ国王への贈答品、文獻もとき発見

マーク・タナバリス



成業の繪(オランダ、国立民族学博物館蔵)

徳川家将末にオランダ国王に贈った...

ここにあなが長くわかって...

折衷的に教えることを...

「一つは、成業の繪」と...

「一つは、成業の繪」と...

「一つは、成業の繪」と...

「一つは、成業の繪」と...

「一つは、成業の繪」と...

「一つは、成業の繪」と...

「一つは、成業の繪」と...

「一つは、成業の繪」と...



鉄黒漆塗紺絲威五枚胴具足

ヨリと職場においてになり、この冬一緒に食事を取った八丁堀...

ンより愛されている妻であり、しっかり者の二児の母であるア...

私が出会った珍品

〈恩賜のサーベルと砲術計測器〉

旧日本陸軍の砲工学校は、明治二十二年五月三十一日に設置...

では、完品で現存するこれらの下賜品は誠に貴重であるといえ...

れます。万一、測定がずれたり間違ったりした場合、敵砲兵陣...

明治二十五年十一月卒業の高等科第一期から昭和八年十一月...

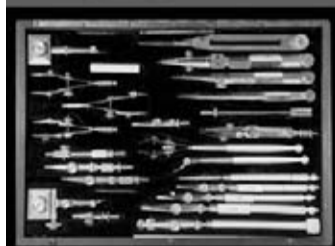
「證書も含めてお譲りするのには、大切に後世に伝えていただ...

陛下よりこれらのお品を賜った旧日本陸軍砲術学校大正十年優...

このように高度な技術を会得した高等科の卒業生のうち、さら...

お品の保存状態は誠に良好です。特に注目していただきたい...

無試射撃を実施し得ることを理想とする砲兵陣地戦において...



上から卒業證書・恩賜のサーベル・砲術計測器など

(生野 正)

ふるさと自慢 第2回 ●福島県東白川郡塙町・棚倉町
兵(つゝ)おももの(ど)もが夢の跡
嶋田 伸夫

福島第一原子力発電所の事故以来、世界で最も有名な地名の一つとなってしまったフクシマ。福島県の地名は地球の裏側まで知られることとなりました。

私の故郷はその原発から約八十キロ離れた福島県の南端、東白川地方にあり、茨城県北部の県境に近い塙・棚倉の両町です。

棚倉町には「延喜式神名帳」(九二七年にまとめられた全国の神社一覧)に陸奥国一之宮と称される八槻都々古別神社と馬場都々古別神社の二社があります。馬場の神社は大同二年(八〇七)に坂上田村麻呂が現在の棚倉城跡に奉遷し、丹羽五郎左衛門長重が寛永元年(一六二四)棚倉築城に際し、現在の地に移築遷宮し奉りました。

八幡太郎義家が奥州征伐のときに進軍した長覆輪太刀二口(国重文)や赤糸威鎧残闕(国重文)など数多くの貴重な文化財が保管され、足利将軍家・豊臣家・諸大名などからの寄進

も行われています。

隣の矢祭町も、源頼義・義家親子が奥州戦争で勝利し凱旋する途中、背負っていた弓矢を岩窟に納めて武運長久を祈ったという場所に矢祭神社が創建されて町名ともなったもので、何かと源義家に縁深い土地柄です。

棚倉藩は慶長八年(一六〇三)立花宗茂が関ヶ原の後、大名として復帰し当地に本部を許され立藩しますが、赤館という山城を居城とし、次に入府した丹羽長重が現在の棚倉城を築城します。そのころお抱え工となったのが初代鬼塚吉国で、奥州棚倉打ちが初期作となり、立花家が許されて筑後柳川の旧領に復帰した折に初代吉国も柳川へ随行します。

慶応四年(一八六八)、戊辰戦争で板垣退助率いる新政府軍に攻められて落城するまでの二百四十余年、八家十六代の城主交代があり、お堀に住む大亀が水面に浮かぶと決まって殿様が

転封されたといふことから、棚倉城は別名「亀ヶ城」とも言われています。

塙町は鎌倉時代より白川結城氏が治めており、現在の白河市の白河城を居城としておりました。しかし、戦国大名の佐竹氏が十六世紀ごろに金山を目的に南奥州進出を開始、結城氏と総力を拵げての戦いが始まります。

結城氏の岩は北上する佐竹軍に次々と攻め落とされ、結城氏の大事な赤館(後に立花宗茂が大名復帰の地)の岩も落とされ、本城の白河城・浅川城も攻略されてしまいます。

佐竹軍は重要な砦に大改修を加えていきますが、その一つが塙町の中央にある羽黒山です。佐竹氏の軍事拠点となる羽黒山城が築かれ、数万の大軍が常駐できるように一つの山を大改修してあります。

何故この地にこれだけの城を考案させられますか、この大改修は関ヶ原の戦と時期を同じくしており、佐竹義宣は石田三成と内通し、上杉景勝・直江兼続と密約を交わし、奥州の地で徳川軍を迎え撃つ準備をしてい

たのです。戦局によっては相互に援軍を送るため、大軍が常駐できる山城が必要だったのでしょう。

塙町は享保十四年(一七二九)には天領となり、近隣の五万石を治める陣屋(代官所)が置かれました。寛延三年(一七五〇)には、数

年来の凶作のため戸塚一揆が起き、代官の寛至方は一揆勢に囲まれ、羽黒山の安楽寺に立てこもりますが自刃します。

百姓の首謀者らは棚倉藩に捕らえられ、死罪となりました。年貢の取り立てが厳し過ぎた結果でした。



奥州一宮の馬場都々古別神社(棚倉町観光協会提供)

所で三十数名が捕らえられ、同地の久慈川畔で処刑されました。処刑場となった場所には石碑が建てられています。

棚倉藩にも四十数名が捕らえられ桜の木に吊るされて、そのまま吊るし切りにされました。わずか数年で明治維新を迎えようとするとき、無事であったなら水戸天狗党からも新政府要人が輩出されていたと思うが、自分たちが礎となった新時代を見守りて亡くなった魂が、この地にも眠っているのです。

この安楽寺には、ほかに水戸天狗党の一派で大変な激派であった田中隊の首領田中愿蔵の墓もあります。八溝山に三百五十余名で立てこもり、後に隊を解散し下山したところを塙代官

NEWS & TOPICS 「甲冑の美」欧米巡回展の反響

「アート・オブ・アーマー(甲冑の美)展」が欧米各国で二年間にわたって開催され、大反響を呼んでいる。

これはアメリカの「アン・ガブリエル・バミューニャー・コレクシオン」の中から甲冑・兜・面具・馬具・陣羽織・戦具など百十二点を厳選し展示するもので、展覧会を企画されたのはメトロポリタン美術館特別顧問およびボストン美術館顧問の小川盛弘氏。世界の人人々にサムライの表道具の美を理解し楽しんでもらえればとの思いが、バミューニャー夫妻の共感を呼び、巡回展の実現にこぎ着けた。

この展覧会は二〇一一年十月から一二年一月にかけてパリの国立クイブランリ美術館において、さらに同年四月から一三年一月までカナダ・ケベック市のシビリーゼーション文化美術館にて開催された。

入場者はパリ展が十五万人以上、ケベック展が二十万人以上と、いずれも開館以来の最高を記録し、地元マスコミも今まで目にする事のなかったサムライ

イ・アートに大きな驚きと称賛の声を寄せている。また、凶録(売価約六千五百円)が合わせて二万部以上売れたという。

同展は今年四月十四日から八月四日までボストン美術館で開催されており、二十万人以上の入館が予想されている。

このような展覧会が欧米諸国において開かれ好評を博していることは、われわれ業界人にとって実にうれしく、ありがたいことである。今後は国内においても、日本刀をはじめ甲冑、武器などの「サムライ・アート」展を行政や博物館に働きかけ、関係者が協力し合って実現し、積極的に普及啓蒙に役立てていかなければならぬことを痛感した。(賞賛吉也)

お知らせとお願い

■本紙購読について

「刀剣界」は隔月で発行しています。現在、キャンペーン中につき、ご希望の方に一年間無料でお送りしています。組員・賛助会員以外の方で継続購読を希望される方は、お名前・送付先(住所・電話・メールアドレス(あれば))を左記まで書面でお知らせください。また、お知り合いの刀剣に興味のある方がいましたら、教えてあげてください。

■情報を募集しています

本紙は組合の機関紙であるとともに、紙面のように刀剣界を網羅し、斯界に役立つ情報紙であることを目指しています。ついでに、広く情報をお寄せくださるようお願いいたします。イベント・レポート、催事情報をはじめ、ご覧になった新聞や雑誌記事、TV番組の感想、エピソードなど、何でも結構です。組員・賛助会員以外の方も歓迎です。

■広告募集中です

ただし、紙面の関係で編集させていただくことがありますので、ご承知おきください。本紙では記事とともに順次、広告欄の充実も期してまいります。料金は、年間六回(三万円)です。ただし、編集委員会の審査により、要望に沿えない場合もあります。詳しくお知りになりたい際は組合に直接お問い合わせください。

■お申し込み・お問い合わせ先

全国刀剣商業協同組合(全刀商)
TEL 03(32205)0601
FAX 03(32205)0089

開店一周年を迎えて

おかげさまで、儀平屋はこの四月十四日で開店一周年を迎えることができました。これもひとえにお客さまと刀剣業界の方々のお力添えによるものと、従業員一同感謝しております。

弊社は、一般の刀剣の販売はもとより、居合・試斬用真剣の特注刀剣(カスタムオーダー)

の製作、拵の製作に力を入れており、大変ご好評をいただいております。

もともと弊社はインターネットを中心に営業をしております。ことから、遠方のお客さまへのサービスや対応は経験豊富で、安心してご利用いただけるものと自任しています。

これからも三周年、五周年、十周年を迎えられるように日々精進していく所存ですので、今後とも皆さまのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

お店 二六四〇八〇二四 和歌山市元寺町一丁目六七二 一寺町ビル一階左号 ☎〇七三三二七五三一五 FAX〇七三三二七五三二六
http://www.gihaiya.com/ 今津敦生(儀平屋)



刀剣・書画・骨董
和敬堂
土肥豊久・土肥富康
〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-2-16
TEL 0258-33-8510
FAX 0258-33-8511
http://wakeidou.com/

刀 剣 界

ブック・レビュー BOOK REVIEW

マンガと言えども侮れぬ描写力

『カナヤゴ』第一巻

日笠優著 本体五九〇円十税
月刊コミックゼノン (株)徳間書店

帰り道飛び乗った東横線で、右二人目に座っている青年が気になるコミックを読んでいる。俺の好きなアマチュア自転車レースのヒルクライムを題材にしているのだ。タイトルはわからない。出版社は「ビッグ」オックスフォード。良く描けているが、それにしては読むのが早い奴だな。もう次の漫画に行っちゃったよ。

気味悪がられたか、すぐ右隣の若い女性は代官山駅の停車で席を移動してしまった。とにかく俺は漫画を読むのが遅い。そんなに早く読んだら、一生懸命描いた作者に失礼だろうという持論なのだ。

この作品も実に細かく丁寧に描き込まれていて、この第一巻を読み終えるのに三日かかった。鑑賞者の視点から見た刀の姿、暗い鍛錬場で大槌を振るう刀匠たち、そこに舞い散る火花、ディテールの表現に優れ、

一方、ストーリーは鑑賞会で刀剣に出会った女子高校生が受験をすっぽかし刀鍛冶を目指す、というもののだが、一度は断られる点、厳しくも優しい親方、寡黙な兄弟子、三歳違いの意地悪な兄弟子、イケメンで天才肌の刀匠、これらを「ベタな展開やんげー」と関西風に突っ込むことは容易だ。しかし今までコミックの世界で刀剣を題材にしたものは少なく、ここは優しく大切に今後の展開を期待してはいかがだろうか。

白鞘に命をかける頑固職人、凛とした美人鍛冶師、ぶつかり合う研師などが出てくるかもしれないぞ。(あっ、俺もベタだったな)

最後にタイトルの「カナヤゴ」だが、たたら守護神、金



屋敷神と主人公の名前から採ったもの、この(高見国一)刀匠プロ(綱取譲一)

刀剣商リレー訪問①

村上昌也さん

刀装具を中心に憩いの場をつくる

村上昌也さんは、趣味が高じてクラシックカーの販売会社を設立するなど、粋で多趣味な方。その村上さんが日本刀に魅せられたのは、今から五十年以上前のことである。数奇者として刀装具を主に収集していたが、日本美術の魅力を多くの人に伝えたいと、美術品全般を扱うお店を古都京都に開業された。それから十数年。

現在の経営は子息の昌也さんが引き継ぎ、刀装具に重点を絞って日本美術品を販売する形態に移行し、愛好家が集う憩いの場となっている。

昌也さんは二十歳代にサラリーマンを経験している。父のコレクションにはあまり興味なかったが、幼いころから自宅に飾ってある美術品の数々に日常的に触れ、年を重ねるごとに刀装具の奥の深さに魅了されていったのだらう。気づいたらお店の経営を引き継いでいたと言っ。そんな昌也さんが去年東京で開催された「大刀剣市」に初出店し、非常に驚いたと言っ。多くの来場者と会場の熱気に



圧倒され、一年で一番忙しい三日間だったと冗談を交えながらも、普段会う機会のない関東方面の同業者さんたちと面識ができ、交流できたことが何より良かったと満足そう。

北海道プロジェクトを終えて

公益財団法人日本刀文化振興協会

平成二十二年度から三年間の継続事業として文化庁より採択された「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」が、三月二十三、二十四の両日、北海道開拓記念館において開催した「学芸員のための日本刀実践講座」をもって終了した。

この三年の事業の中で開催した講座には、延べ四十一人の学芸員が受講、一般の聴講者は二百人を超えた。当協会からは延べ十二名の講師を派遣した。

また同時に進行した調査事業においては、北海道内の美術館・博物館が所蔵する刀剣類の調査と保存、活用についてのアドバイスを主として執り行った。調査は札幌をはじめ上湧別町、八雲町、厚沢部町、北斗市、七飯町、函館市という広範に及び、調査件数は刀剣類および拵を合わせ百七十点に及んだ。そのうち五つの修理依頼があり、当協会に所属する職方によって修理を完了した。

北海道内における日本刀の遺存状況は、本州のそれと若干異なる。確かに多くの愛刀家も存

在し、名刀を所蔵している。だが美術館・博物館が所蔵しているもののほとんどは、明治期に入植した十族が持ち込み、その末裔たちによって寄贈されたものである。従って、保存状況も良好とは言えず、管理・活用についても手つかずのままである。

戦後六十余年、日本刀は一つの文化として日本人の中で育まれてきた。それは骨董的価値観に主眼を置いたものと言えなくもない。今回の調査事業においては、日本刀の持つ本質とも言えるもの、それに託する日本人の思いと言えものを垣間見た感がある。

身の回りの最低限必要なものだけを携えて入植した当時の人々にとって、日本刀はどのような存在であったのか。鞘も割れ、錆びつき、虚しく横たわっている、それらは強烈な存在感を放っていた。オホーツクの見える最北の町であっても。講座に参加した学芸員の中から、毎回同じ内容でもよいから何回でも受講したい、との意見

●交換会紹介●

【野田会】

野田会は、25年以上も前に発足した歴史ある個人会です。会主は松本富夫氏。地元キノエネ醤油の営業で活躍される一方、若いころから刀に情熱を注いでこられ、本職になったと伺っています。全国刀剣商業協同組合の当初からの組合員でもあります。

さっぱりした性格と面倒見のよい松本さんを慕って、野田会には関東近在の刀剣商・骨董商が集います。会場は千葉県野田市。東武野田線清水公園下車、徒歩10分ほどの店舗で開催されています。開催は毎月3日と19日です。

3年前からは、ご子息の義行さんが跡継ぎとして加わり、活気が増しました。

交換会には、刀剣・刀装具の真面目で出来優れたものが多く見られます。骨董商の方々から時折うぶ品が出品されると、高値の掛け声が勢いよく飛び交います。

連絡先 〒278-0043 千葉県野田市清水199-1 (株)美術刀剣松本 ☎04-7122-1122 (藤岡弘之)



【訂正】

前号の記事中、松田刀剣の電話番号に誤りがありました。正しくは、☎03-6803-0818です。お詫びして訂正します。

古銭・切手・刀剣 売買 評価 鑑定
株城南堂古美術店
 代表
田中 勝憲
 〒153-10051 東京都目黒区上目黒四-3-110
 TEL 03-3711-0167 03-3711-0166
 03-3711-0165 03-3711-0164
 FAX 03-3711-0167 03-3711-0166 03-3711-0165



刀の取り扱いを実習する学芸員

や、初心者講座では、有料でもよいから回数を増やしてほしいなどの感想をいただいた。相当に活気あふれる講座になったと自負するところである。

受託事業は終了するが、北海道の皆さまの日本刀に対する関心の高さに応えるべく、その方策を当協会の公益事業として考えていきたい。

また、今回の北海道における事業によって把握した状況は、たぶん北海道だけのものではなく、全国に及ぶものと想像される。学芸員講座や調査事業などを通し、今日まで目を向けられなかった日本刀の発掘や日本刀の理解を深めていただく機会を、各地において展開していきたい。

「山陽新聞」平成25年2月14日

四十周年を迎えた交換会

「全国美術刀剣青年会」の歩み

現在、交換会と呼ばれる「市場」が各地で数多く開催される中、全国美術刀剣青年会(以下「青年会」)が、創立四十周年を迎えました。

直近の名簿には、各市場の会主を務められる諸先輩をはじめ、活躍される多くの方々が特別会員として名を連ねます。本来、その諸先輩に語っていたたくべきところですが、拝聴したことを交え、ご紹介したいと思います。

青年会はその定款第三条で、目的を次のように記しています。「本会は、将来の刀剣商業界

に於いて公正適法の精神を以て明朗健全に活躍する人材を相互開発し、研修修練する事を目的とする。」

昭和三十九年、刀剣業界では初めて、東京美術倶楽部で市場を開催した「全国美術刀剣会」に続き、上記目的達成のため、昭和四十七年五月に公安認可を受け、市場はスタートしました。さて、開催地の東京美術倶楽部は、明治四十年四月に美術界の期待を背負い株式会社として両国に設立。大正十三年に現在地へ移り、昭和十二年に三階建て和風社屋が建てられました。

新築建て替えのため、平成元年三月に銀座ギャラリーセンタービルへ仮移転し、三年十二月に現在の社屋から通称「ギャラセン」、そして新社屋と会場を移しましたが、浪漫感じる和風旧社屋を知る方も減ったことでしょう。

会運営は、代表幹事が毎年代わり、歩金も抑え、行事で還元するというものでした。昭和五十年代は、公開オークションや正礼展示即売会、後に敵島神社や上杉神社への研修旅行、都内勉強会なども催され、歴史ある会場での市場開催を含め、さまざまな経験の場となりました。また、先輩の皆さんから伺う武勇伝も数々あり、活況な時代の良き伝説となっています。

聖域化されていた青年会も、事故の標的になる逆境の中、現役員(五十歳以下)減少も若干解消され、先輩方のご支援のもと、遵法自治を強め難局を乗り越えつつあります。近年の現役員が後輩をサポートする発句システムなど、その使命はまだまだ続くことでしょう。

(伊波賢一)

イベント・レポート

日刀保ロシア支部「侍展」日本刀を介した文化交流の可能性

昨年六月、公益財団法人日本美術刀剣保存協会のモスクワ支部が設立され、十二月から今年一月末までモスクワ支部主催の第一回「侍展」が催されました。

モスクワ支部長に就任されたアイスストロフ・ユリ氏より、設立に当たり日本側の事務的な手伝いをしてほしいとの要望があり、日刀保本部との連絡係として「侍展」に参加させていただきました。

ロシアの古都サンクトペテルブルクで開催された展示会には、会員の所有する刀剣二十振が鎌倉時代から現代刀まで時代に別陳列され、会場では会員が交代で見学者からの絶えることのない質問に答えていました。

「侍展」は、戦前からロシア国内にある日本刀は、刀身の形から日本刀とはわかりませんが、錆と朽ちこみがひどく、全く別の武器にしか見えません。モスクワ支部では、初めて日本刀を見るロシアの子供たちに光輝く宝石のように美しさに触れ、日本人には特別な思いがあって守り伝えてきたことを理解してもらい、なぜ特別なものなのかを説いていきたいと語っていました。

日本は近隣の韓国や中国とは平和条約を結んでいますが、ロシアとはまだ結んでおらず、近くて遠い国のイメージがまだまだ強いのは事実です。今経済が最優先のロシアは、本音を言わず、相互間の貿易のために陰湿な事態を極力避けており、民間レベルの文化交流を進んで奨励しています。

(嶋田伸夫)



平成10年、熱海大観荘にて

私のロシアの友人が四百年前の刀をロシアへ持ち帰り、知人に見せたところ、刀を見た知人は「君は愚かだね。日本人にだまされたことがわからないのか。四百年前の刀(鉄)が、こんなに光っているわけがないだろう」と言ったそうです。日本刀に対してこのレベルの認識が常識となっている国なのですか

日本刀を見て凄みがあがり怖いと思う人もいますが、それ以上に、美しく吸い込まれるようだと言うロシア人がいます。日本刀を単なる武器・美術品として見るだけでなく、日本刀を持つことにより、自国にはない独自の精神文化を創り上げた神秘の国日本へ近づき、日本人の精神を受け



講演に聴き入るロシアの若者たち

徳川家がオランダ国王に贈った甲冑

幕末の1858(安政5)年、徳川将軍家が蒸気船の寄贈を受けた返礼としてオランダ国王に贈った甲冑の作者が、津山藩のお抱え具足師・明珍宗周であることが日欧の研究家らから突き止めた。甲冑に付いた色紙が「徳川宗周」などと記されているが、日本では現在存在するかどうかも確認されていなかったが、同国ライデン市の国立民族学博物館に所蔵されていることが分かった。(久万直毅)

作者は津山藩具足師

関連資料は、津山藩 相成 御授意之品友の武具製作を研究してと題し甲冑や陣風などがある津山市大谷、玉置を贈ったとあり、宗周清二(76)が美作國の日記にも甲冑の作り方を記している。1800年に合わい特徴が書かれていたせて近く発掘されたが、事実関係は異なり書に掲載する。られていなかった。



津山藩お抱え具足師・明珍宗周の作と分かった「徳川宗周」オランダ国立民族学博物館提供

日欧の研究家確認

「63」東京に問い合わせ 威徳の記述と一致するわけが分かった。平安時代の形式を踏襲する甲冑の作りかた、作者や来歴が史料で裏付けられるケースはまれ。先代・宗保の作品も欧州で人気が高く、地元ゆかりの職人が海外でも評価されていることは「誇らしい」と話している。

現地博物館に所蔵

玉置さんの調査では、津山藩が戦場で敵味方を判別するのにつけた合印「剣大」(現在津山市蔵に活用)の飾りがかぶとに付いた宗周の甲冑が「ASARA」とコロラロシヨンすることにより、普段は博物館へ足を運ぶことの少ない若い世代の来館を期待した、という。

観客にも驚いたが展示法も斬新

土浦市博物館は、開館二十五周年記念と銘打って三月十六日から五月六日まで特別展「婆娑羅たちの武装―戦国を駆け抜けた武將たちの甲冑と刀剣―」を開催した。今回の特別展はゲ

今回取り上げた戦国武將は三十四人に上り、織田信長・上杉謙信・徳川家康・伊達政宗など、まさにスーパースターたちの武具類が並ぶ。国の重要文化財六件、重要美術品二点、県指定文化財など九十五点が展示された。

ちなみに婆娑羅とは中世、南北朝時代の社会的・文化的風潮を表す言葉で、秩序を無視し、権威を軽んじ、派手な振る舞いや服装を好む独特の美意識が特徴である。戦国時代に起る下克上の風潮の先駆けとも言われる。

北朝時代の社会的・文化的風潮を表す言葉で、秩序を無視し、権威を軽んじ、派手な振る舞いや服装を好む独特の美意識が特徴である。戦国時代に起る下克上の風潮の先駆けとも言われる。

催事情報

大阪歴史博物館

〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32 ☎06-6946-5728
http://www.mus-his.city.osaka.jp/

特集展示「修復品・新収品 お披露目展」

博物館が所蔵している資料は長い年月を経たものが多く、表面がひび割れしていたり、錆や汚れによって状態の良くないものもあります。こうした資料を修復し、将来に伝えていくことは博物館の重要な仕事の一つです。また、傷んでいる資料を修復することによって、広く公開することも可能となります。

今回の特集展示では、修復を終えた資料を展示し、博物館の持つ「資料の修復・保存」という役割について紹介します。また、併せて近年当館の所蔵となった資料についてもお披露目します。

会期：4月10日(水)～6月10日(月)
火曜休館。ただし4月30日(火)は臨時開館
主な展示資料：計17件

〈修復品〉

- ①獅子図 竹内栖鳳
- ②8mmフィルム 当館では所蔵する戦前のフィルムを安全な16mmもしくは35mmフィルムに置き換え、さらにデジタル化して内容の保存と公開に努めているが、展示資料は西宮市に在住した藤井健次郎氏が観光の際に撮影した京都・吉野の映像(昭和12年ごろ)で、一部カラー。

〈新収品〉

- ③魚楽図屏風 李氏朝鮮王朝時代(下の写真)
 - ④芝山象嵌時絵箏 明治中期
 - ⑤大阪能楽殿関係資料
- 学芸員による展示解説：
4月13日・27日、5月11日(各土曜日)午後2時から30分程度



板橋区立郷土資料館

〒175-0092 東京都板橋区赤塚5-35-25 ☎03-5998-0081

板橋の武器武具 ―特に国接收刀剣類を中心に―

平成11年度に国(文化庁)から譲渡された戦後接收刀剣類、通称「赤羽刀」18振の研磨保存が一昨年を終了し、その早急な公開を念頭に今回の展示の柱に据えました。これらは幕末期の優れた刀・槍で構成され、板橋区のみならず国の文化財としても重要な価値を有するものです。

そのほか区内から発見された刀や槍、鉄砲、板橋宿平尾にあった加賀藩下屋敷に関連して収拾した加賀具足や江戸時代の文書類を参考資料として添えました。

会期：4月20日(土)～6月23日(日)
月曜休館。ただし4月29日(月)、5月6日(月)開館、翌火曜休館
観覧料：無料
展示解説：4月27日、5月25日、6月22日(各土曜日)午後1時半～



関西大学博物館

〒564-0073 大阪府吹田市山手町3-3-36 ☎06-6368-1171

名刀にかける 河内國平作刀展

会期：6月3日(月)～7月20日(土)
休館：日曜・祝日。ただし6月30日は開館(当日参加の方は準備の都合上、河内宅☎0746-44-0253か上記まで連絡を)
入場料：無料
展示品：復元七支刀・藤ノ木古墳出土剣、國平作太刀・刀・脇指・短刀ほか

トークショー①

「阿川佐和子の、今、河内國平に会いたい」阿川佐和子&河内國平
6月30日(日)午後1時30分～3時

トークショー②

日笠優(「カナヤゴ」作者)&河内國平
7月13日(土)午後2時40分～4時10分

東大寺ミュージアム

〒630-8208 奈良市水門町100番地 ☎0742-20-5511

修理完成記念「国宝・東大寺金堂鎮壇具のすべて」

国宝東大寺金堂鎮壇具は、明治40～41年に大仏さまの須弥壇の周囲から発見・発掘されました。この度、平成22年秋に「陽剣」「陰剣」の象嵌銘が発見された大刀2口を含む、国宝東大寺金堂鎮壇具の保存修理が完成し、記念特別展にて一括公開します。

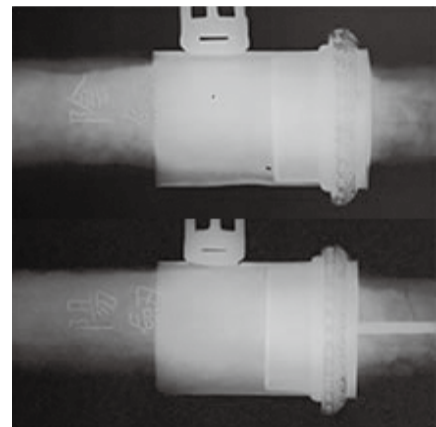
本展では「国家珍宝帳」所載の金銀荘大刀2口、また鞘に繊細な金平脱唐草文様が施された金鉦荘大刀2口、鞘に含綬鳥文を表した金鉦荘大

刀1口、刀身に北斗七星の象嵌がある銀荘大刀1口をはじめ、鉄製の小札を組紐でつづった掛甲残闕、金泥文様のある漆皮箱残欠、銀製狩猟文小壺など、多種多様の出土遺品が展示されます。

正倉院に残る「出蔵帳」の記載から、これらの出土遺品は、おそらく光明皇后により天平宝字3年(759)12月以降ごろに埋納された宝物と考えられています。

これらのほか、国宝日光・月光菩薩立像や東大寺の歴史を語る貴重な品々が展示されます。

会期：3月1日(金)～9月29日(日)無休。
ただし展示替えのため臨時休館あり



「陽剣」「陰剣」象嵌銘がある金銀荘大刀

星と森の詩美術館

〒948-0101 新潟県十日町市稲葉1099-1 ☎025-752-7202

現代日本刀の美

わが国独自の作刀技術が成立して1千年余、その技術は今日まで脈々と受け継がれています。今回は館藏品を中心に、月山貞一(1907～95)、隅谷正峯(1921～98)、天田昭次(1927～)の3人の人間国宝を含む、現代

日本刀作家9名の15口を展覧します。また、鉄を素材として制作・研究を続ける2人の作家、鞍掛純一(1967～)と田中里実(1960～)による展覧会「鉄・彫・写」を同時開催します。会期：6月7日(金)～8月4日(日)



見学者で賑わう会場。28,057人が訪れた

私が訪れたのは平日の午前中だったが、結構入場者が多い。やはり若い人たちが多く、特に女性が目立つのには少々驚いた。コラボの効果か、はたまたわっ、これはすごい！これが第一印象。名だたる戦国武将たちの武器類が一堂に会する場面思わず目をみはる。思いつき切り派手なものから奇抜なデザインまでバラエティに富んでおり、歴史ファンでなくとも大いに楽しめると思う。問いただかぬかの名刀が展示されているのだが、甲冑の迫力に押され、どうしても目立たなくなってしまうのは致し方ないかもしれない。

昨今の歴女ブームの表れか。一階の当館所蔵の名刀類の鑑賞もそこそこ、二階の特別展に足を運ぶ。

飾り方も新鮮であった。普通の鎧立てのように展示するのではなく、甲冑に合わせて金属などで特殊な形を作り、立体的に見せ、あたかも中に武将がいるかのようなのである。外国ではあるらしいが、私は初めて見て非常に新鮮に感じた。博物館を出た後もしばらく余韻が残る、印象的な展覧会であった。(赤荻稔)

どれをとっても名品ぞろいであるが、私にとって一番印象的だったのは、正面中ほどに展示されていた徳川家康が子息頼房(水戸初代藩主)に贈った甲冑である。金色まばゆいばかりだが、幕末に斉昭が水戸金工に修理手直しさせたという。細部まで緻密な仕事なされ、見事なものである。